

2023年12月吉日

お客さま各位

株式会社埼玉りそな銀行

書面による外国向送金依頼書の受付終了および 終了後の外国向送金受付方法のお知らせ

平素より弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、新規格(ISO20022)を用いた外国向送金を可能とするため、以下の日程で書面による外国向送金および国内外貨建送金(「手書きの外国向送金依頼書」および「海外送金登録サービス」)の受付を終了させていただきます。何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、弊社ホームページやりそなグループアプリから外国向送金のお手続きが可能な各種サービスをご用意しておりますので、是非ご利用ください。

記

1. 取扱終了日

外国送金サービス名	対象となるお客さま	取扱終了日
海外送金登録サービス (新規印字の受付)	個人・法人・個人事業主のお客さま	2024年3月29日(金)
手書の外国向送金依頼書の受付 (海外送金登録サービスで作成された依頼書も対象となります)	法人・個人事業主のお客さま	2024年6月28日(金)
	個人のお客さま	2024年10月31日(木)

2. 取扱終了後の外国向送金受付方法

上記サービスの代替サービスは以下の通りです。

外国送金サービス名	法人・個人事業主のお客さま	個人のお客さま
りそな外為 Web サービス*1	○	-
りそなグループアプリ海外送金サービス	-	○
海外送金事前申込みサービス*2	○	○

*1 りそな外為 Web サービス: <https://www.saitamaresona.co.jp/hojin/service/keiei/gaitame/web/index.html>

*2 海外送金事前申込みサービスのサービス開始は 2024年1月24日以降となります

- 各種サービスの詳細につきましては弊社ホームページにてご確認ください。お取引店までお問い合わせください。
- 外国向送金取引におきましては、各種書面等の提示をお願いし、取引内容の確認をさせていただいております。その結果により、弊社判断でお取引の受付をお断りさせていただく場合もございますので、ご了承ください。

以上

海外送金 ISO20022 移行について(送金依頼の変更)

海外送金にかかる代表的な決済ネットワーク国際送金サービスである SWIFT(国際銀行間通信協会)は、2023年3月20日(*)より、従来の規格である MT フォーマットから、金融サービスの通信メッセージ標準である新たな MX フォーマット(ISO20022)へ順次移行する旨表明しています。銀行間で使用するデータフォーマットは MX フォーマット(ISO20022)に統一され、MT フォーマット(従来の規格)は 2025 年 11 月に廃止されるため、埼玉りそな銀行でも 2023 年 3 月 20 日より順次対応しております。

スケジュール詳細については決まり次第、別途お知らせいたします。

* SWIFT より: 当初 2022 年 11 月から、2023 年 3 月へ延期となりました。

ISO20022 とは

ISO20022 は、金融サービス情報の伝送に用られる、金融通信メッセージフォーマットの国際標準規格で、お金のやり取りをするときには、「このような情報をこのように送受信してください」というルールです。送金に必要な情報だけでなく、お客さまの取引に関わるさまざまな情報を、共通の規格で送受信することが可能となります。

ISO20022 移行

従来の規格である MT フォーマットは、40 年以上も前に誕生したもので、現在においては機能的に限界があり手作業が必要なため、外国送金取引のプロセスを複雑にしてきました。また、国際的なアンチマネーローディング(以下、AML)規制強化により、今後、課題が生じる可能性があります。これらの課題に対応するため、海外送金のデータフォーマットを新たな MX フォーマット(ISO20022)へ移行することにより、従来の規格に比べて柔軟性や拡張性に優れたデータ活用が期待でき、不正が防止され、データ分析精度やコンプライアンスの向上が期待されています。

メッセージフォーマットの例

【MT フォーマット(従来の規格)】

MTフォーマット	
: 59 : /	
AAA Company , BBB 123	
<u>受取人名</u>	<u>住所</u>
, 987654 , CCC City State	
	<u>都市名・州名</u>
, DD Country	
<u>国</u>	

【MT フォーマット (従来の規格)】

- 送金受取人情報は、「59」という一つのフィールドに受取人名・住所・都市名・国名などの多数の情報を入力されている。
- アナログな仕組みになっており、入力欄には、複数の情報を一括入力することが求められており、国際的な AML のスクリーニングが困難。

【MX フォーマット(ISO20022)】

MXフォーマット (ISO20022)	
<Ctr>	
<Nm> AAA Company </Nm>	受取人名
<PstlAdr>	住所
<StrtNm> BBB </StrtNm>	
<BldgNb> 123 </BldgNb>	
<PstCd> 987654 </BPstCd>	
<TwnNm> CCC </TwnNm>	都市名・州名
<Ctry> DD </Ctry>	国
</PstlAdr>	
</Ctr>	

【MX フォーマット (ISO20022)】

- MX フォーマット (ISO20022) ではタグと呼ばれる記号文字を囲むことで、データの内容を明確に記載することが可能となる。
- 住所情報における国や都市の情報を明確化、情報量が増えコンプライアンス対応が向上する。
- 従来の MT フォーマットと比べ、拡張性が高くデジタル化に対応しやすく、送金データ取込後の消込などの自動化が可能。
- 新しいデータ項目の設定や、送金情報詳細といった多くの情報を送金依頼と同時に早く送信することができる。

仕向送金の影響について

現在、埼玉りそな銀行では MX フォーマット(ISO20022)での送金受付の開始時期を検討中です。2025 年 11 月に MT フォーマット(従来の規格)の廃止が予定されており、移行期間の間は新旧フォーマットが併存することになります。海外送金においては、お客さまからいただく送金依頼のフォーマットにも変更(送金依頼人・送金受取人・受取銀行の住所情報の構造化と細分化)が生じるため、一部のお客さまにおかれましては、社内システムの更改が必要になる可能性がございます。ご了承をお願いいたします。